基本政策2
「地域産業が伸びゆく阿南」の創生
～多様な産業が元気いっぱいのまちに～

まちづくり分野	総合戦略分野
2-1　農業・林業・漁業 …… 80	しごと
2-2　工業 …… 85	
2-3　商業 …… 88	
2-4　雇用環境 …… 91	

2-1 農業・林業・漁業

ビジョン 持続可能な農林漁業のまちづくり

現状と課題

- 本市の農業は高齢化や担い手・後継者不足、小規模な経営という問題を抱えており、これらを解決するためには新規農業者の確保、労働の省力化、有害鳥獣対策、農地の集積・集約化や販路の拡大等を図る必要があります。
- 農地の維持、農業用施設の補修・維持管理を行い、地域資源の適切な保全管理、農業の保全、収入の安定化を図る必要があります。
- 所有者不明森林の増加や高齢化、担い手の減少により手つかずの山林が増えています。それに対し、所有者の捜索と意向調査を行い、境界の明確化を行うことで、森林整備の促進を図り、山地災害の予防や水源の確保といった森林の公的機能の保全を行う必要があります。
- 漁業の担い手が不足する中、漁業者所得の安定化を図るため、海洋環境整備、水産資源の保全など、持続可能な漁業経営と資源管理の取組を推進していくことが必要とされています。
- 燃油価格が高騰・高止まりする中、第一次産業の経営が圧迫されており、価格転嫁も困難であることから、経営安定対策が必要とされています。

基本的な方向性

- 農山漁村は、国土の保全、良好な景観の形成等の様々な役割を有しています。そのため、農業・林業・漁業を巡るスマート化や環境負荷の低減、６次産業化*や地産地消の推進、国・県の補助金を活用した燃油高騰対策、将来を見据えた担い手の確保を通じて、生産者や関係機関・団体等と連携しながら施策の一体的な展開を図り、魅力と活力ある農村生活環境づくりを推進し、経営体制の強化など多面的な取組を進めます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 生産力の向上と環境負荷に配慮した農業の推進

■主要な施策

▶認定農業者制度の活用による農業の担い手・後継者対策の推進

▶環境負荷低減事業活動の推進

☞農林水産業における化学肥料・農薬低減、温室効果ガスの排出抑制等の環境負荷低減の事業活動を推進する。

▶地域計画の実行による農業後継者の確保と集積・集約化の促進

☞地域の方々や関係機関等と連携し、農業の課題、将来のあり方や担い手を定めることで、地域の農業を守る。

▶効率的な生産技術の導入やスマート化・機械化による省力化の推進

☞農作業の省力化、スマート化等に資する農業用機械や施設等の導入経費の一部を助成する。

▶国・県と連携した燃油高騰対策の推進

☞第一次産業において、長引く燃油の高騰・高止まりが経営に大きく影響を及ぼしているため、国・県の補助金を活用した燃油高騰対策を実施し、経営の安定化を図る。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名 新規認定農業者数（累計）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
5経営体	▶▶▶	36経営体	▶▶▶	71経営体

指標の説明

農業経営基盤強化法に基づく、農業経営改善計画の新規認定数

新規認定農業者が地域農業の中核となる担い手となることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

過去の実績を踏まえ、毎年度7経営体が増加すると見込み、目標値を設定

この目標達成により、地域農業の中核となる担い手の育成・確保に寄与

指標名　補助事業者数（累計）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
11 事業者	▶▶▶	26 事業者	▶▶▶	41 事業者

指標の説明

担い手確保・経営強化支援事業、農地利用効率化等支援事業の補助事業者数
認定農業者や新規就農者等の規模拡大を行う担い手へ農業用機械の導入経費を補助することで地域農業を守っていくことにつながるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

農業の担い手の育成を目指し、目標値を設定
この目標達成により、経営面積拡大を促進し、担い手の確保に寄与

重点テーマ2　農業生産基盤の整備

■主要な施策

▶農業用施設の適正な機能管理

☞管理農道・樋門（ひもん）・かんがい用用排水路・排水機場等の維持管理を行う。

▶農業用施設の適正な機能管理

▶有害鳥獣対策事業

☞有害鳥獣捕獲報償金、捕獲檻や電気柵設置、狩猟免許取得補助等を実施し、農林水産業等への被害低減を図る。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　農業水利施設（河川樋門（ひもん）・除塵機（じょじんき））の長寿命化対策進捗率

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
0％	▶▶▶	40%	▶▶▶	100%

指標の説明

管理施設に対する長寿命化対策率（農業用施設機能保全計画で長寿命化が必要とされた施設のうち、対策済施設数を長寿命化が必要とされた施設数で割った数値）
自然災害から市民の生命・財産を守るため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

近年の樋門（ひもん）整備の実績を踏まえ、2028（令和 10）年度までに 100%を目指し、目標値を設定
この目標達成により、地域営農の安定化と維持管理の軽減に寄与

重点テーマ3 森林の多面的かつ持続的な機能の発揮

■主要な施策

▶森林整備の根幹となる所有者間の境界の調査と明確化

▶森林整備の推進と森林の公的機能の保全

☞境界が明確化された放置林の間伐を行い、森林の適正な管理と山地災害の予防に努める。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　放置林整備事業実施面積（累計）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
—	▶▶▶	90ha	▶▶▶	190ha

指標の説明

南部地域森林管理システム推進協議会の事業で行った放置林整備事業実施累計面積

適切な森林管理を行っていくための目標として、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

事業実施面積の増加を目指し、目標値を設定

この目標達成により、間伐を行うことで適正な森林管理の推進と山地災害の予防や水源の確保など、森林の公的機能の保全に寄与

重点テーマ4 持続可能な漁業経営と海洋資源の保全

■主要な施策

▶海岸漂着物等対策の推進（再掲）

☞漁場の環境や生産力の回復を図るため海洋ごみ対策を実施し、海面環境保全を推進する。

▶水産資源の確保

☞水産資源の維持・回復のため、種苗*放流を実施するとともに、藻場の食害等による磯焼け対策の推進を図る。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　種苗*の放流量

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
658 万尾（個）	▶▶▶	783 万尾（個）	▶▶▶	800 万尾（個）

指標の説明

種苗*放流事業、離島漁業再生支援等交付金事業における放流実績

海洋環境と水産資源の保全や漁業者所得の安定化につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

種苗*の放流による安定した漁獲量の確保を目指し、目標値を設定

この目標達成により、持続可能な漁業経営と資源管理に寄与

重点テーマ5　地域資源の利用促進

■主要な施策

▶有害鳥獣の食肉（ジビエ）の地域資源としての有効活用

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　有害鳥獣の食肉（ジビエ）としての有効活用頭数

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
—	▶▶▶	30 頭	▶▶▶	100 頭

指標の説明

本市のジビエ処理加工施設での処理頭数

食肉（ジビエ）としての活用が増加することで、地域資源としての活用や新事業の創出につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

食肉（ジビエ）として有効活用された頭数の増加を目指し、目標値を設定

この目標達成により、有害鳥獣の地域資源としての活用拡大や新事業の創出に寄与

関連する個別計画

●阿南市農業基本構想
●阿南市森林整備計画
●阿南市農業用施設機能保全計画
●地域計画
●阿南市鳥獣被害防止計画
●徳島県みどりの食料システム基本計画

2-2 工業

ビジョン 産業振興で活力あるまちづくり

現状と課題

- 本市には国内有数の企業が立地し、これまで本市の産業や雇用を支え、また、大多数を占める中小企業が産業の振興を担っています。しかし近年の原材料価格やエネルギー価格の高騰、少子高齢化や人口減少による市場規模の縮小や後継者・人手不足など、既存企業を取り巻くビジネス環境は年々厳しさを増しており、企業の安定した操業継続・拡大を促進していく必要があります。
- 徳島県が 2024（令和６）年７月に策定した、蓄電池関連産業を新たな産業の柱として確立していくための産業戦略である「徳島バッテリーバレイ構想*」を本市でも積極的に推進し、脱炭素社会への貢献や新たな雇用の創出、地域経済の活性化につなげていく必要があります。そのためには新たな企業用地の確保や企業誘致活動が必要となります。
- 若者世代の定住・雇用の確保を図るため、若者に地元企業を知ってもらう機会の創出や、理工系人材の育成に取り組んでいく必要があります。

基本的な方向性

- 県南の産業・経済の中心都市としての役割を担うため、市内立地企業の安定した創業継続・拡大を促進し、安定的な雇用の確保に努めるとともに、徳島県や地元関連企業等と連携し、「徳島バッテリーバレイ構想*」推進のため、企業用地の確保や誘致活動及び理工系人材の育成等に積極的に取り組んでいきます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1　既存企業の振興

■主要な施策

▶企業の安定した操業継続・拡大の促進

☞工場を新設及び増設する企業に対し、固定資産税の減免を行い、操業継続・拡大による新たな雇用の創出を図る。

▶工業用水の安定的な確保と高速道路ネットワークの早期整備の推進

☞関係団体等と連携し、国への積極的な要望活動を行う。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　「阿南市工場設置奨励条例」による指定工場の新規件数（年間）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
4件	▶▶▶	5件	▶▶▶	10件

指標の説明

市の奨励指定により新設及び増設した工場の件数

工場の新設・増設により、地域経済の活性化や雇用の創出につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

企業の操業継続・拡大を図るため、年間1件ずつの増加を見込み、目標値を設定

この目標達成により、企業の安定した操業継続と地域経済の活性化に寄与

指標名　市内主要企業で働く従業員数

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
9,286人	▶▶▶	9,350人	▶▶▶	10,000人

指標の説明

市内主要企業（辰巳工業団地7社・大潟新浜工業団地6社・その他の市内企業10社）の従業員数

企業の安定した操業継続・拡大は雇用の創出にもつながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

年間約1%増加を見込み、目標値を設定

この目標達成により、人手不足の解消や地域経済の活性化に寄与

重点テーマ2 新たな企業誘致の促進

■主要な施策

▶企業誘致活動の推進

☞徳島県及び市内蓄電池関連企業と連携し、積極的な企業誘致活動を行う。

▶工業団地（用地）の確保

☞徳島県や市内金融機関等と連携し、工業団地（用地）の確保に努める。

▶企業誘致に向けた市民の機運醸成

☞「徳島バッテリーバレイ構想*」の取組を広く周知する。

▶理工系人材の育成

☞徳島県や市内蓄電池関連企業と連携し、小中学生を対象に蓄電池関連の授業等を実施する。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名 企業誘致等の件数（2024（令和６）年度からの累積）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
０件	▶▶▶	０件	▶▶▶	４件

指標の説明

市内へ新たに立地した企業及び新たに拡張等を行った企業の数

企業誘致等により、地域経済の活性化や雇用の創出につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

年に１件の新規の企業誘致や既存関連企業の拡張・展開を目指し、目標値を設定

この目標達成により、雇用の創出と地域経済の活性化に寄与

2-3 商業

ビジョン　商業の振興によるにぎわいと豊かなまちづくり

現状と課題

- 経済のグローバル化や DX*化の進展により中小企業を取り巻く社会経済情勢はめまぐるしく変化し、少子高齢化の加速や為替市場の変動、また原材料やエネルギー価格の高騰、最低賃金の引き上げなどの要因が中小企業の経営に大きな影響を与えています。
- 消費者ニーズの多様化や大型商業施設の進出、インターネットショッピングの普及等により、本市の商業を取り巻く環境はより一層厳しさを増すとともに、近年は、後継者不足により事業承継ができず、廃業を検討する経営者が増加しています。
- 市内商工団体等と連携し、事業継続の支援や創業支援等を促進することで商業の振興による地域経済の活性化など豊かなまちづくりに向け、積極的に取り組んでいく必要があります。

基本的な方向性

- 市内商工団体等と連携し、地元中小企業が成長するビジネス環境をつくるため、地域経済を「庭」、地元中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして中小企業を大切に育てることにより地域経済の活性化を図る「エコノミックガーデニング*」の考え方を導入し、中小企業の更なる成長を促すとともに、新産業の創出を担う起業家の育成にも積極的に取り組んでいきます。

重点テーマ・主要な施策・KPI（重要業績評価指標）

重点テーマ1　エコノミックガーデニング*の推進による地元中小企業の育成と活性化

■主要な施策

▶中小企業の経営に関する支援

☞中小企業診断士等による経営相談及び創業支援を実施する。

▶雇用の安定に向けた支援

☞阿南市 UIJ ターン*促進事業や阿南市雇用対策協定に基づく支援を実施する。

▶事業の継続・拡大に関する支援

☞工場設置奨励条例や先端設備等導入計画による事業拡大に関する支援を実施する。

■KPI（重要業績評価指標）

指標名　中小企業・小規模事業者の創業及び経営等相談件数（年間）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
13 件	▶▶▶	51 件	▶▶▶	60 件

指標の説明

中小企業診断士や税理士による「よろず出張経営相談会」での相談件数（年間）

経営等相談により、経営に必要な資金繰りや助成金等の情報を得ることができるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

現状値の相談件数の約 15%増を目指し、目標値を設定

この目標達成により、新たな時代の社会経済の変化に対応した中小企業等の持続的な発展に寄与

指標名　企業訪問によるヒアリング調査件数（年間）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
—	▶▶▶	—	▶▶▶	60 件

指標の説明

エコノミックガーデニング*の取組の一つである企業訪問によるヒアリング調査件数（年間）

企業の生の声を聞くことで、今後の中小企業等支援策の検討材料にすることができるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

月平均５件として年間 60 件を目指し、目標値を設定

この目標達成により、企業の現状や課題を把握するとともに、企業との信頼関係の構築に寄与

重点テーマ2　新産業の創出を担う起業家の育成

■主要な施策

▶新産業の創出及び起業家の支援

☞創業支援セミナーによる創業者等支援を実施する。

▶インキュベーションセンター*の利用促進

▶阿南市へのサテライトオフィス*進出に対する支援

☞あなんスマート・ワークオフィス*の利用件数の拡大を図り、都市圏からの人の流れの創出や起業家の支援を行う。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　創業支援セミナー受講後の創業者数（累計）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
1人	▶▶▶	1人	▶▶▶	5人

指標の説明

セミナー受講後の創業者数（累計）

創業に必要な知識やノウハウが身に付き、創業への足がかりとなることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

年間1件の創業者を見込み、目標値を設定

この目標達成により、創業者が増加することで地域経済の発展に寄与

指標名　あなんスマート・ワークオフィス*利用日数

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
71日	▶▶▶	109日	▶▶▶	125日

指標の説明

あなんスマート・ワークオフィス*の利用日数

利用日数の増加により、施設の有効活用とサテライトオフィス*の進出が期待できるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

現状値の利用日数の約15%増を目指し、目標値を設定

この目標達成により、本市へのサテライトオフィス*進出につながることで、地域経済の活性化に寄与

2-4 雇用環境

ビジョン 誰もがいきいきと働き続けられるまちづくり

現状と課題

- 雇用の創出・拡大のためには、徳島労働局、阿南公共職業安定所及び商工会議所等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、今後は地元企業とより一層の連携強化が必要となります。
- 高齢者に多様な就業機会を提供する阿南市シルバー人材センターの事業運営を支援し、人手不足の悩みを抱える中小企業や育児･介護関連等で働く現役世代を下支えしていますが、定年の引き上げなど労働形態の変化により、同センターの会員数は年々減少しています。そのため、退会会員の抑制と新規入会者の促進を図り、高齢者の能力や経験に応じた仕事の提供や地域の特性を生かした新たな就業機会の確保等を行う必要があります。
- 介護職を始めとする多様な業界において慢性的な人手不足となっており、若者の定着を図るための施策を検討していく必要があります。

基本的な方向性

- 市民が安心して働くことができる環境づくりのため、関係機関や企業と連携して、雇用の創出と拡大を図るとともに、高齢者や障がい者、女性、外国人等の人権が尊重される職場環境に向けた啓発や勤労者福祉の充実に向けた取組に努めます。
  また、「阿南市シルバー人材センター」に対する支援により、高齢者の雇用の場の確保と慢性的な人材不足の解消を図ります。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1　職場環境の整備や向上

■主要な施策

▶職場環境の整備促進

☞育児や介護中であっても安心して働くことができるよう、労働セミナーや個別相談会、企業訪問を実施する。

▶就職差別撤廃の促進

▶勤労者福祉の充実

☞中小企業が単独では実施が難しい福祉事業について、徳島勤労者福祉サービスセンター（あわーず徳島）の会員制度の周知による福利厚生の充実や、セミナー及び個別相談会等を通じた職場環境の改善、ワークライフバランスの推進を図る。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　労働相談会や働き方改革相談会の実施回数（年間）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
1回	▶▶▶	3回	▶▶▶	5回

指標の説明

労働法令改正のポイント等を解説するセミナーや労働相談会を実施した件数（年間）
各種セミナーの開催や個別の相談会の実施により、市民が安心して働くことができる職場環境づくりにつながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

労働相談会や働き方改革相談会を積極的に行うこととし、目標値を設定
この目標達成により、市民が安心して働くことができる職場環境づくりに寄与

重点テーマ2　安定的な雇用に向けた支援

■主要な施策

▶若者の就労及び定着に向けた支援

☞キャリア支援や職業訓練、学生と企業のマッチングなどを通じて、若者が働きやすい環境づくりを支援する。

▶高齢者、障がい者及び女性の雇用の場の確保

☞柔軟な勤務形態の促進や職場環境の整備などを就労支援セミナーや企業訪問などを通じて働きかける。

▶高齢者の就業支援

☞阿南市シルバー人材センターとの連携の強化や事業運営の支援を行い、豊かな経験と知識を有する高齢者の社会参加を促す。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　就労相談の実施件数（年間）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
104 件	▶▶▶	52 件	▶▶▶	130 件

指標の説明

隣保館やセミナーなどで就職や労働環境の個別相談を行った件数（年間）

就職希望者などが置かれているそれぞれの状況にあわせた相談が就職・定着に効果的であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

積極的な就労相談の実施により、2019（令和元）年の実績値から 25%増加させることを目指し、目標値を設定

この目標達成により、就職希望者の就職や定着に寄与

指標名　阿南市シルバー人材センター会員数（直近３年度の平均）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
836 人	▶▶▶	812 人	▶▶▶	750 人

指標の説明

阿南市シルバー人材センターに登録する会員数

高齢者が働くことを通じて生きがいと健康を得ることができることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

健康で労働意欲のある高齢者数の維持・確保を目指し、目標値を設定

この目標達成により、高齢者の社会参加、生きがいの充実、健康の保持増進を促し、地域全体の活性化に寄与

重点テーマ3　関係機関や企業との連携

■主要な施策

▶就労関係機関との連携強化

☞徳島労働局やハローワーク、商工団体、企業と連携し、就労支援やマッチングの体制を強化する。

▶介護人材の確保に向けて介護事業所及び関係機関と連携した雇用の促進

■KPI(重要業績評価指標)

指標名　就労関係機関が実施する事業や就職に関する情報提供件数（年間）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
55 件	▶▶▶	55 件	▶▶▶	70 件

指標の説明

徳島県最低賃金やハローワークの求人情報を市のホームページで周知した件数（年間）

幅広く情報提供することで就労者への支援につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

就労に関する情報提供件数を、2019（令和元）年の実績値から 25%以上増加させることを目指し、目標値を設定

この目標達成により、就労環境の向上や就労率向上に寄与

指標名　関係機関と連携した雇用促進の取組件数（年間）

実績（2019）		現状（2023）		目標（2028）
1 件	▶▶▶	2 件	▶▶▶	5 件

指標の説明

徳島労働局やハローワーク、商工団体などと連携した事業の実施件数（年間）

様々な労働関係機関との連携による相乗効果により、効果的な就職支援につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

関係機関と連携した取組を積極的に行い、実施回数の増加を目指し、目標値を設定

この目標達成により、求職者の就業率向上に寄与

関連する個別計画

●阿南市高齢者福祉計画・阿南市介護保険事業計画